

業績のハイライト(個別)

平成18年9月期決算の概要について

当行では、平成18年4月にスタートした中期経営計画「好品質計画」に基づき、業容の拡大と財政基盤の強化に努めてまいりました。

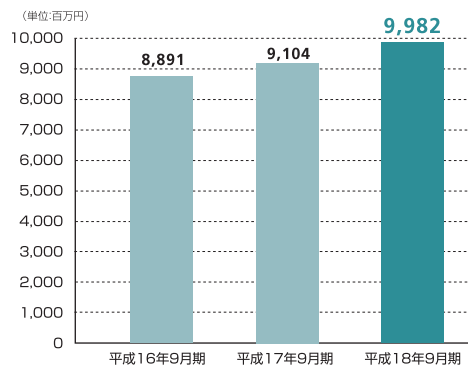
主な経営指標等の推移は次のとおりです。

	平成16年9月期	平成17年9月期	平成18年9月期
経常収益	8,891百万円	9,104百万円	9,982百万円
経常利益	1,062百万円	1,245百万円	773百万円
中間純利益	895百万円	828百万円	425百万円
業務純益	1,395百万円	1,477百万円	1,356百万円
コア業務純益	1,421百万円	1,504百万円	1,137百万円
預金・譲渡性預金残高	7,440億円	7,391億円	7,509億円
貸出金残高	4,954億円	5,068億円	5,126億円
有価証券残高	1,885億円	1,842億円	1,973億円
単体自己資本比率(国内基準)	8.42%	8.51%	8.76%

経常収益について

経常収益は99億82百万円(前年同期比9.6%増)となりました。経常収益の増加は、資金運用収益の増加や国債等債券売却益の計上などによるものです。

●経常収益

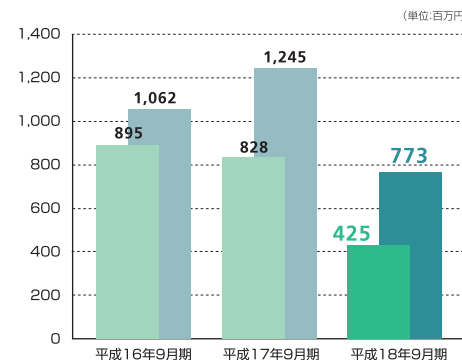


経常利益・中間純利益について

経常利益は7億73百万円(前年同期比37.9%減)、中間純利益は4億25百万円(前年同期比48.6%減)となりました。経常利益と中間純利益は、コア業務純益の減少や貸倒償却引当費用の増加などにより減益となりました。

●経常利益 中間純利益

■ 経常利益
■ 中間純利益

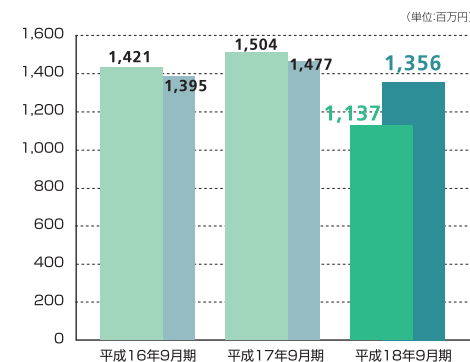


業務純益・コア業務純益について

銀行本来の収益力を表すコア業務純益は11億37百万円(前年同期比24.4%減)となりました。コア業務純益は、日本銀行のゼロ金利政策解除にともなう資金調達費用の増加により資金利益が減少したことに加え、ATM手数料等の役務取引等利益が減少したことなどから減益となりました。

●業務純益 コア業務純益

■ 業務純益
■ コア業務純益

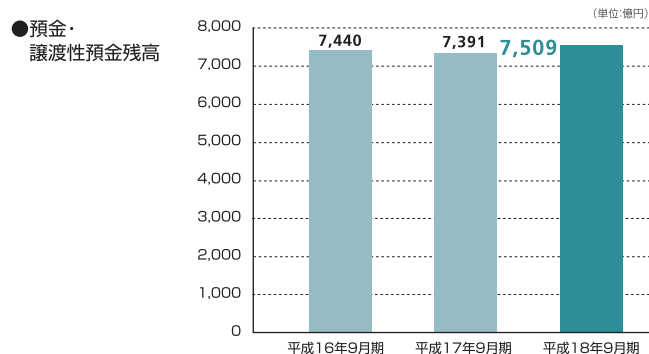


※コア業務純益とは、業務純益から一般貸倒引当金繰入額および債券売買等の損益を控除した金額をいいます。

業績のハイライト(個別)

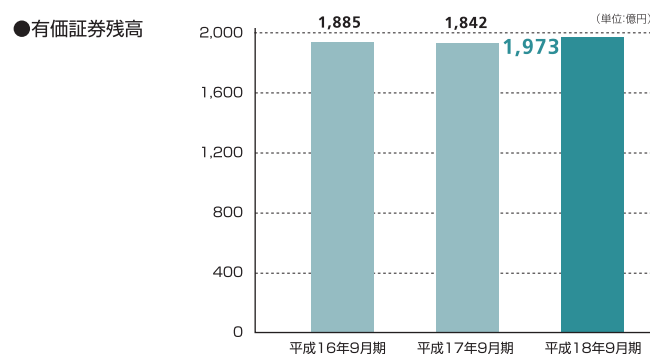
預金・譲渡性預金残高について

預金・譲渡性預金残高は、法人預金及び公金が減少したものの、主力の個人預金が堅調に推移し、7,509億94百万円(前年同期比1.6%増)となりました。



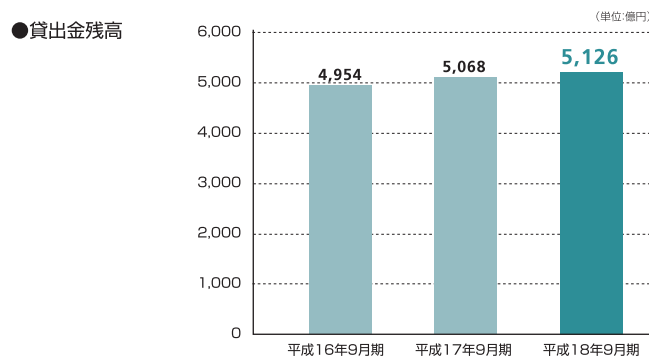
有価証券残高について

有価証券の残高は、1,973億61百万円(前年同期比7.1%増)となりました。市場動向等を勘案し、リスクの分散を図りながら、資金の効率的かつ安定した運用に傾注しました。



貸出金残高について

貸出金残高は、中小企業向け貸出や住宅ローンが減少したものの、地方公共団体向けの貸出等が堅調に推移し、5,126億14百万円(前年同期比1.1%増)となりました。



単体自己資本比率について

単体自己資本比率(国内基準)は、前年同期比0.25ポイント上昇し8.76%となりました。

